



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成26年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 第一三共株式会社

コード番号 4568 URL <http://www.daiichisankyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 譲治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 石田 憲昭

TEL 03-6225-1125

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト、報道関係者向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	254,449	0.7	29,430	93.9	27,925	59.4	18,546	20.5	19,986	33.0	15,285	△58.4
26年3月期第1四半期	252,637	—	15,180	—	17,514	—	15,394	—	15,024	—	36,780	—

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円	銭	円	銭
27年3月期第1四半期	28.39	—	28.34	—
26年3月期第1四半期	21.34	—	21.31	—

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率		1株当たり親会社所有者帰属持分	
	百万円		百万円		百万円		%		円	銭
27年3月期第1四半期	1,756,777		1,001,572		975,763		55.5		1,386.11	
26年3月期	1,854,037		1,007,527		979,933		52.9		1,392.03	

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
26年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00	—
27年3月期	—	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	920,000	△17.7	120,000	7.6	120,000	20.3	78,000	28.0	110.80	—

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)平成26年12月末を予定しているサン・ファーマによるランバクシーの吸収合併(後述)完了後、ランバクシーグループの経営成績は非継続事業に区分されることが想定されます。従いまして、平成27年3月期通期業績予想は、継続事業である「第一三共グループセグメント」の見通しを記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注)詳細は、10ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	709,011,343 株	26年3月期	709,011,343 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	5,050,832 株	26年3月期	5,051,576 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	703,959,021 株	26年3月期1Q	703,946,478 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、要約四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、9ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
【連結業績】	2
【セグメント報告】	4
【研究開発活動】	8
(2) 財政状態に関する説明	9
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	9
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	10
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	10
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	10
3. 要約四半期連結財務諸表	11
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	11
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	13
要約四半期連結損益計算書	13
要約四半期連結包括利益計算書	14
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	15
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	16
(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	17
(継続企業の前提に関する注記)	17
(セグメント情報等)	17

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、2014年3月期より国際会計基準（IFRS）を適用しております。

## (1) 経営成績に関する説明

## 【連結業績】

(単位：百万円。百万円未満切捨て)

	2014年3月期 第1四半期	2015年3月期 第1四半期	対前年同期増減
売上収益	252,637	254,449	1,812 0.7%
営業利益	15,180	29,430	14,249 93.9%
税引前四半期利益	17,514	27,925	10,411 59.4%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	15,024	19,986	4,962 33.0%

## &lt;グローバル主力品売上収益&gt;

(単位：百万円。百万円未満切捨て)

品目	2014年3月期 第1四半期	2015年3月期 第1四半期	対前年同期増減
オルメサルタン 高血圧症治療剤	73,126	75,772	2,645 3.6%
プラスグレル 抗血小板剤	5,806	5,777	△28 △0.5%

## &lt;研究開発費&gt;

(単位：百万円。百万円未満切捨て)

	2014年3月期 第1四半期	2015年3月期 第1四半期
研究開発費	48,112	43,179
対売上収益比率	19.0%	17.0%

## &lt;主要通貨の日本円への換算レート（期中平均レート）&gt;

	2014年3月期 第1四半期	2015年3月期 第1四半期
1米ドル/円	98.76	102.16
1ユーロ/円	128.96	140.06
1インドルピー/円	1.71	1.72

## ① 売上収益

当第1四半期(2014年4月1日~2014年6月30日)の売上収益は、18億円増収の2,544億円(前年同期比0.7%増)となりました。

日本では主力品が伸長したものの薬価改定や消費税率改定の影響等により若干の減収となりましたが、欧州、その他の地域の伸長及び為替の寄与により、グループ全体では増収となりました。

## ② 営業利益

営業利益は、142億円増益の294億円(前年同期比93.9%増)となりました。

売上総利益の増加に加え販売費及び一般管理費、研究開発費の減少により、大幅な増益となりました。なお、前年の第1四半期には、第一三共ヨーロッパGmbHにおける事業再編損を販売費及び一般管理費に計上しております。

## ③ 税引前四半期利益

税引前四半期利益は、104億円増益の279億円(前年同期比59.4%増)となりました。

金融収益の減少及び金融費用の増加等により、営業利益よりも小幅な増益となっております。

## ④ 親会社の所有者に帰属する四半期利益

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、50億円増益の200億円(前年同期比33.0%増)となりました。

法人所得税費用の増加により、税引前四半期利益よりも小幅な増益となっております。

## 【セグメント報告】

## ① 第一三共グループ セグメント

売上収益は、33億円増収の2,134億円（前年同期比1.6%増）となりました。

営業利益は、175億円増益の321億円（連結調整前、前年同期比120.2%増）となりました。

## a. 日本

日本の売上収益は、1,226億円（前年同期比1.6%減）となりました。

国内医薬ではオルメテック、ネキシウム、メマリー等が伸長したものの、薬価改定や消費税率改定の影響等により、売上収益は1,072億円（前年同期比1.6%減）となりました。

輸出医薬の売上収益は、53億円（前年同期比3.7%増）となりました。

ヘルスケア（第一三共ヘルスケア株式会社）の売上収益は、94億円（前年同期比4.6%減）となりました。

## &lt;日本の売上構成&gt;

（単位：億円。億円未満四捨五入）

区 分	2014年3月期 第1四半期	2015年3月期 第1四半期	対前年同期増減
国 内 医 薬	1,089	1,072	△17 △1.6%
輸 出 医 薬	51	53	2 3.7%
へ ル ス ケ ア	98	94	△4 △4.6%

## ＜日本カンパニー主力品売上収益＞

(単位：億円。億円未満四捨五入)

製品名	2014年3月期 第1四半期	2015年3月期 第1四半期	対前年同期増減
オルメテック 高血圧症治療剤	166	187	21 12.7%
ネキシウム 抗潰瘍剤	109	153	43 39.4%
ロキソニン 消炎鎮痛剤 (うちロキソニンテープ)	149 (90)	122 (75)	△27 △18.0%
メモリー アルツハイマー型 認知症治療剤	66	79	13 19.0%
クラビット 合成抗菌剤	76	69	△8 △9.9%
レザルタス 高血圧症治療剤	43	45	2 4.2%
アーチスト 高血圧・狭心症・ 慢性心不全治療剤	54	48	△6 △11.7%
メバロチン 高コレステロール 血症治療剤	52	42	△10 △19.9%
オムニパーク 造影剤	47	42	△5 △10.5%
プラリア 骨粗鬆症治療剤	4	13	9 250.9%
ランマーク 癌骨転移治療剤	16	21	5 34.0%

## b. 北米

北米の売上収益は、539億円（前年同期比1.6%減）となりました。なお現地通貨ベースでは5億2千7百万米ドル（前年同期比4.9%減）となりました。ルイトポルド社のヴェノファーや新製品インジェクタファーが寄与しましたが、ベニカー／ベニカーHCT、エイゾール、ウェルコール等が競合激化により減収となり、北米事業全体でも若干の減収となりました。

## &lt;第一三共Inc. 主力品売上収益&gt;

(単位：百万米ドル。百万米ドル未満四捨五入)

製品名	2014年3月期 第1四半期	2015年3月期 第1四半期	対前年同期増減
ベニカー／ ベニカーHCT 高血圧症治療剤	241	185	△56 △23.3%
エイゾール 高血圧症治療剤	47	40	△6 △13.6%
トライベンゾール 高血圧症治療剤	23	26	3 11.7%
ウェルコール 高コレステロール血症治療剤・ 2型糖尿病治療剤	115	111	△5 △4.0%
エフィエント 抗血小板剤 (共同販促収入)	41	42	1 2.5%

## &lt;ルイトポルド・ファーマシューティカルズInc. 主力品売上収益&gt;

(単位：百万米ドル。百万米ドル未満四捨五入)

製品名	2014年3月期 第1四半期	2015年3月期 第1四半期	対前年同期増減
ヴェノファー 貧血治療剤	50	70	20 40.8%
インジェクタファー 貧血治療剤	-	14	14 -



## c. 欧州

欧州の売上収益は、233億円（前年同期比19.2%増）となりました。また現地通貨ベースでは1億6千6百万ユーロ（前年同期比9.8%増）となりました。オルメテック／オルメテックプラス、セビカー、セビカーHCTが増収に寄与しました。

## &lt;第一三共ヨーロッパGmbH主力品売上収益&gt;

(単位：百万ユーロ。百万ユーロ未満四捨五入)

製品名	2014年3月期 第1四半期	2015年3月期 第1四半期	対前年同期増減
オルメテック／ オルメテックプラス 高血圧症治療剤	76	79	3 4.2%
セビカー 高血圧症治療剤	23	38	15 63.7%
セビカーHCT 高血圧症治療剤	12	24	12 94.3%

## d. その他の地域

その他の地域の売上収益は、136億円（前年同期比21.6%増）となりました。

中国、韓国、ブラジル等においてオルメサルタンを中心とする主力品が伸長しました。

## ② ランバクシーグループセグメント

売上収益は、15億円減収の411億円（前年同期比3.6%減）となりました。

営業利益は、31億円減益の△19億円（連結調整前、前年同期比263.2%減）となりました。

なお、サン・ファーマシューティカル・インダストリーズLtd.（以下「サン・ファーマ」）がランバクシーを吸収合併し、その対価として当社がサン・ファーマの株式を受領する契約を、2014年4月6日、3社において締結しました。本合併は、ランバクシー及びサン・ファーマ両社の株主並びに規制当局の承認その他必要な手続きの終了後、2014年12月末迄に完了する予定です。本吸収合併完了後、ランバクシーグループの経営成績は非継続事業に区分されることが想定されます。

## 【研究開発活動】

当社は、競争力のある研究開発パイプラインを充実し、革新的医薬品の迅速かつ継続的な創出に向けた取り組みを推進しており、重点領域を循環代謝領域・癌領域・フロンティア領域と定め、ベストインクラス・ファーストインクラス品目の創出に注力しております。

またベンチャースピリットをグループ内に醸成させる取り組みとして、子会社のアスビオファーマ株式会社、U3ファーマGmbH、プレキシコンInc.のさらなる活用に加え、2013年4月にベンチャーサイエンスラボラトリーを設立し、その強化を進めています。

さらに、他社との提携やオープンイノベーションの拡充、バイオ医薬品事業への本格参入に向けた研究開発の強化も推進しております。

### ① プラスグレル

日本においては、2014年5月に経皮的冠動脈形成術を伴う虚血性心疾患の適応で発売しました（製品名：エフィエント）。引き続き、虚血性脳血管障害患者を対象とした第3相臨床試験を推進しております。

### ② エドキサバン

深部静脈血栓症、肺塞栓症患者における静脈血栓塞栓症（VTE）の治療及び再発抑制、並びに非弁膜症性心房細動（AF）に伴う脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制に関する適応取得を目指し、2013年12月に日本で、続いて2014年1月に欧米で承認申請を行いました。

なおエドキサバンの営業戦略を検討してまいりました結果、日米欧におきましては自社単独販売を行います。また日米欧以外では、市場環境や当社の営業基盤などを踏まえ、国ごとあるいは地域ごとに最適なパートナーを選定いたします。

### ③ デノスマブ

デノスマブは、骨代謝に関わる抗体医薬品であり、米国アムジェン社から日本における開発・販売権を取得しております。2012年4月にランマークの製品名で多発性骨髄腫による骨病変及び固形癌骨転移による骨病変の適応症で発売し、2013年6月にブラリアの製品名で骨粗鬆症治療剤として発売しました。

また、2014年5月に骨巨細胞腫に関する承認事項一部変更承認を取得しました。

さらに、乳癌術後補助療法を対象としたグローバル第3相臨床試験、関節リウマチ患者を対象とした国内第3相臨床試験を推進しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における資本合計は1兆16億円（前期末比60億円減少）、資産合計は1兆7,568億円（前期末比973億円減少）、親会社所有者帰属持分比率は55.5%（前期末52.9%）となりました。

資本合計は、四半期利益の計上がある一方で、在外営業活動体の換算差額の減少等により、減少しました。

資産合計は、社債及び借入金の減少等により、資本合計と比較して減少額が大きくなっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2014年5月15日に公表した2015年3月期連結業績予想から変更はありません。

2014年12月末を予定しているサン・ファーマによるランバクシーの吸収合併完了後、ランバクシーグループの経営成績は非継続事業に区分されることが想定されます。従いまして、2015年3月期通期業績予想は、継続事業である「第一三共グループセグメント」の見通しを記載しております。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(IFRSにより要求される会計方針の変更)

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除いて、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

当社グループは、当連結会計年度より、次の基準書及び解釈指針をそれぞれの経過措置に準拠して適用しております。これらの基準書等の適用が、要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

基準書及び解釈指針		新設、改訂の概要
IAS第32号	金融商品：表示	相殺表示の要件の明確化及び適用指針の追加
IFRS第10号	連結財務諸表	投資企業に関する定義の公表、投資企業が保有する投資に係る会計処理の設定
IFRS第12号	他の企業への関与の開示	
IAS第27号	個別財務諸表	
IFRIC第21号	賦課金	賦課金に係る会計処理の明確化
IAS第36号	資産の減損	非金融資産の回収可能価額の開示に係る規定の改訂
IAS第39号	金融商品：認識及び測定	ヘッジ会計中止規定に対する例外規定の設定

## 3. 要約四半期連結財務諸表

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2014年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	183,070	165,683
営業債権及びその他の債権	269,194	254,732
その他の金融資産	324,160	256,039
棚卸資産	189,408	194,412
その他の流動資産	24,769	23,988
流動資産合計	990,603	894,856
非流動資産		
有形固定資産	316,304	312,318
のれん	85,518	84,980
無形資産	171,417	166,002
持分法で会計処理されている投資	2,624	2,768
その他の金融資産	141,553	145,566
繰延税金資産	122,550	125,510
その他の非流動資産	23,464	24,774
非流動資産合計	863,433	861,920
資産合計	1,854,037	1,756,777

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2014年6月30日)
負債及び資本		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	245,422	214,530
社債及び借入金	160,326	97,003
その他の金融負債	15,115	13,823
未払法人所得税	5,636	8,401
引当金	22,702	22,129
その他の流動負債	11,985	12,955
流動負債合計	461,188	368,845
非流動負債		
社債及び借入金	263,289	261,712
その他の金融負債	14,177	12,591
退職給付に係る負債	8,947	8,808
引当金	3,747	4,401
繰延税金負債	39,838	42,695
その他の非流動負債	55,320	56,148
非流動負債合計	385,321	386,359
負債合計	846,509	755,204
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	105,267	105,267
自己株式	△14,408	△14,403
その他の資本の構成要素	121,753	118,802
利益剰余金	717,320	716,096
親会社の所有者に帰属する持分合計	979,933	975,763
非支配持分		
非支配持分	27,594	25,808
資本合計	1,007,527	1,001,572
負債及び資本合計	1,854,037	1,756,777

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)
売上収益	252,637	254,449
売上原価	87,601	85,881
売上総利益	165,035	168,568
販売費及び一般管理費	101,743	95,958
研究開発費	48,112	43,179
営業利益	15,180	29,430
金融収益	6,983	5,389
金融費用	4,520	6,484
持分法による投資損失	128	409
税引前四半期利益	17,514	27,925
法人所得税費用	2,120	9,379
四半期利益	15,394	18,546
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	15,024	19,986
非支配持分	369	△1,440
四半期利益	15,394	18,546
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	21.34	28.39
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	21.31	28.34

## 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)
四半期利益	15,394	18,546
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	1,544	3,281
確定給付制度に係る再測定額	△7	△8
その後純損益に振り替えられる 可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	19,712	△6,522
キャッシュ・フロー・ヘッジ	34	—
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	101	△11
税引後その他の包括利益	21,385	△3,261
四半期包括利益	36,780	15,285
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	34,636	16,952
非支配持分	2,143	△1,667
四半期包括利益	36,780	15,285



## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	キャッシュ・ フロー・ ヘッジ	その他の 包括利益を通 じて公正価値 で測定する 金融資産
2013年4月1日 残高	50,000	105,194	△14,460	1,504	40,545	959	42,057
四半期利益	-	-	-	-	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	18,050	22	1,546
四半期包括利益	-	-	-	-	18,050	22	1,546
自己株式の取得	-	-	△5	-	-	-	-
自己株式の処分	-	-	0	-	-	-	-
株式に基づく報酬取引	-	-	-	-	-	-	-
配当金	-	-	-	-	-	-	-
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	-	-	-	-	-	-	△50
その他の増減	-	-	-	-	0	△0	△0
所有者との取引額等合計	-	-	△5	-	0	△0	△50
2013年6月30日 残高	50,000	105,194	△14,466	1,504	58,596	981	43,553
2014年4月1日 残高	50,000	105,267	△14,408	1,680	80,252	-	39,821
四半期利益	-	-	-	-	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	△6,305	-	3,280
四半期包括利益	-	-	-	-	△6,305	-	3,280
自己株式の取得	-	-	△4	-	-	-	-
自己株式の処分	-	-	9	△4	-	-	-
株式に基づく報酬取引	-	-	-	-	-	-	-
配当金	-	-	-	-	-	-	-
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	-	-	-	-	-	-	78
その他の増減	-	-	-	-	△0	-	△0
所有者との取引額等合計	-	-	4	△4	△0	-	78
2014年6月30日 残高	50,000	105,267	△14,403	1,676	73,946	-	43,179

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	親会社の所有 者に帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
	確定給付制度 に係る再測定	その他の資本 の構成要素 合計				
2013年4月1日 残高	-	85,067	680,844	906,645	31,835	938,480
四半期利益	-	-	15,024	15,024	369	15,394
その他の包括利益	△7	19,611	-	19,611	1,773	21,385
四半期包括利益	△7	19,611	15,024	34,636	2,143	36,780
自己株式の取得	-	-	-	△5	-	△5
自己株式の処分	-	-	△0	0	-	0
株式に基づく報酬取引	-	-	-	-	139	139
配当金	-	-	△21,118	△21,118	-	△21,118
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	7	△43	43	-	-	-
その他の増減	-	0	-	0	276	277
所有者との取引額等合計	7	△42	△21,075	△21,123	416	△20,706
2013年6月30日 残高	-	104,636	674,794	920,158	34,395	954,553
2014年4月1日 残高	-	121,753	717,320	979,933	27,594	1,007,527
四半期利益	-	-	19,986	19,986	△1,440	18,546
その他の包括利益	△8	△3,033	-	△3,033	△227	△3,261
四半期包括利益	△8	△3,033	19,986	16,952	△1,667	15,285
自己株式の取得	-	-	-	△4	-	△4
自己株式の処分	-	△4	△4	0	-	0
株式に基づく報酬取引	-	-	-	-	84	84
配当金	-	-	△21,118	△21,118	-	△21,118
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	8	86	△86	-	-	-
その他の増減	-	△0	-	△0	△202	△202
所有者との取引額等合計	8	82	△21,210	△21,123	△118	△21,241
2014年6月30日 残高	-	118,802	716,096	975,763	25,808	1,001,572

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	17,514	27,925
減価償却費及び償却費	12,250	12,581
減損損失	144	114
金融収益	△6,983	△5,389
金融費用	4,520	6,484
持分法による投資損益(△は益)	128	409
固定資産除売却損益(△は益)	△483	125
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	14,387	11,930
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,728	△6,980
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△3,808	△21,362
その他	1,800	△1,221
小計	35,743	24,618
利息及び配当金の受取額	2,714	1,577
利息の支払額	△1,250	△3,015
法人所得税の支払額	△22,445	△5,921
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,761	17,258
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△59,966	△13,486
定期預金の払戻による収入	49,599	20,041
投資の取得による支出	△83,859	△75,997
投資の売却による収入	80,134	134,539
有形固定資産の取得による支出	△9,065	△8,988
有形固定資産の売却による収入	138	25
無形資産の取得による支出	△2,208	△5,150
貸付けによる支出	△376	△487
貸付金の回収による収入	191	366
その他	453	△77
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,958	50,786
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行及び借入れによる収入	890	10,414
社債の償還及び借入金の返済による支出	△7,075	△72,737
自己株式の取得による支出	△5	△4
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△21,134	△21,130
その他	△239	△355
財務活動によるキャッシュ・フロー	△27,564	△83,813
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△37,761	△15,768
現金及び現金同等物の期首残高	191,145	183,070
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,615	△1,618
現金及び現金同等物の期末残高	160,999	165,683

## (5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に医療用医薬品及び一般用医薬品の研究開発・生産・販売を基礎とした経営単位ごとのセグメントから構成されており、「第一三共グループ」「ランバクシーグループ」の2つを報告セグメントとしております。

「第一三共グループ」：当社並びに第一三共Inc.及び第一三共ヨーロッパGmbH等の子会社が医療用医薬品及び一般用医薬品の事業活動を展開しております。

「ランバクシーグループ」：ランバクシー・ラボラトリーズLtd.を中核とするランバクシーグループが、医療用医薬品及び一般用医薬品の事業活動を展開しております。

前第1四半期連結累計期間(自 2013年4月1日 至 2013年6月30日)

(単位：百万円)

	第一三共 グループ	ランバクシー グループ	合計	調整	要約四半期 連結財務諸表
外部顧客からの売上収益	210,024	42,613	252,637	—	252,637
セグメント間の売上収益	360	307	668	△668	—
計	210,384	42,920	253,305	△668	252,637
セグメント利益 (税引前四半期利益)	15,948	2,125	18,073	△559	17,514

(注) セグメント利益の調整額には、取得原価配分額の償却、セグメント間取引消去等が含まれております。

当第1四半期連結累計期間(自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)

(単位：百万円)

	第一三共 グループ	ランバクシー グループ	合計	調整	要約四半期 連結財務諸表
外部顧客からの売上収益	213,357	41,092	254,449	—	254,449
セグメント間の売上収益	348	489	838	△838	—
計	213,706	41,582	255,288	△838	254,449
セグメント利益 (税引前四半期利益)	32,042	△3,392	28,649	△724	27,925

(注) セグメント利益の調整額には、取得原価配分額の償却、セグメント間取引消去等が含まれております。